

かごしま農業女子プロジェクトの取組状況



令和3年11月18日

かごしま農業女子プロジェクト 代表 大吉 枝美

「かごしま農業女子プロジェクト」 (令和元年5月設立)

- 農林水産省農業女子プロジェクトメンバーのうち、鹿児島県内の女性農業者で構成 (現在31名)
- 野菜、果物、米、畜産、花き、観葉植物、6次産業化加工品などの多彩な商品を生産している女性農業者の集まり
- 家族経営から大規模農家まで経営規模は様々
- 「食育」×「職育」をコンセプトに様々な活動を情報発信

※ 「職育」とは「職(働く)」ことの意義やその選択方法を習得すること



31名の会員が所属 (令和3年11月現在)

「かごしま農業女子プロジェクト」冊子

かごしま農業女子プロジェクトの活動を広くPRするため、就農のきっかけや農業への熱い想い、農業女子プロジェクトに入ってよかったことなど一目でわかる「かごしま農業女子プロジェクト」冊子を作成。
 行政機関、JA、農業高校などに700部配布

かごしま農業女子プロジェクト



鹿児島島の未来を育てる

かごしま農業女子プロジェクト

令和3年7月

九州農政局鹿児島県拠点

おあし えみ
大吉 枝美
 大吉(だいきち)農園 指宿市
 かごしま農業女子プロジェクト

大吉農園
 品目：キャベツ38ha、枝豆8ha、ケール3.8ha、プチヴェール50a
 加工品等：フリーズドライ枝豆スナック
 販売先：市場、契約栽培先のマルマサフード、百貨店、スーパーマーケット、
 関東の結婚式場等約10箇所
 特徴：平成28年JGAP、令和2年ASIAGAPの認証取得。
 令和元年11月から専業キャベツの輸出(タイ、シンガポール、香港)開始。

農業女子プロジェクトに入ったきっかけ

農業女子プロジェクトに入ってよかったこと

「わが子に食べさせたい野菜作!」
 大吉農園のモットーです。

就農のきっかけ

両親の農業での苦労を見て育ったため、私は看護師に。平成20年、夫が祖父の畑を継ぎ就農。それを機に私も農業に携わることに！農水省が主催した女性農業次世代リーダー育成塾に一期生として通い、その後、JGAP指導員の資格を取得したことなどをきっかけに経営が安定。

女性農業次世代リーダー育成塾に参加したことがきっかけ。
 農水省からの情報発信やプロジェクト活動に参加させていただき、楽しく活動させてもらっています。

全国の農業女子プロジェクトの方々とつながり、活動することで元気をもらい、農業に励んでいます。
 かごしま・九州・全国の皆さんと活動できることが本当によかったと思っています。

大吉農園から生み出される野菜やスナック

目標
 安定経営のための契約栽培の増加！
 海外輸出の販路を増やして、売り場を見に行けるような経営をしていきたい！

開開岳をバックのキャベツチーム

主な活動状況

異業種とのコラボ商品企画やイベント、ワークショップを開催



トータルハウジングでのスムージー作り



ウェルカムドリンク作り

経営力強化や農業経営を学ぶため講師を招いて研修会開催（農水省事業を活用）



研修会の様子



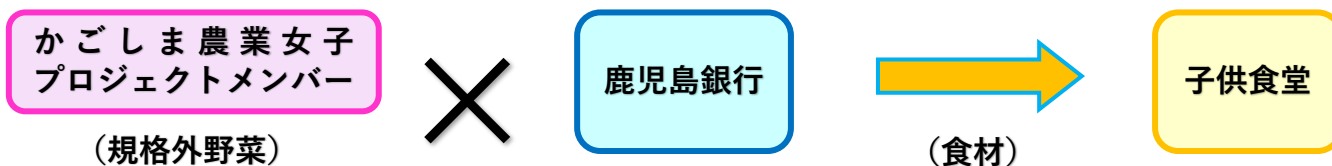
ダイハツトラックでマルシェ



今後取り組みたいこと

① 廃棄野菜を活用したフードロスへの取組（SDGs）

鹿児島銀行とのコラボ～「もったいない」を子ども食堂へ～



② 農業の魅力を知ってもらう

一般大学生や高校生を対象に生産からマルシェ（販売）まで直に体験



③ 企業とコラボした食育と商品開発

(株) タニタとの協業～ 県産野菜を使用した健康志向の商品開発～

